

Communications and collaboration solutions
To support your business objectives

IBM

Lotus® software

人と人とのつながりを深め、
組織の成長を加速する。

IBM Lotus Connections



多くの企業は、革新的な製品やサービス、新しいビジネスモデルによって自らを成長させたいと考えています。この成長に欠かせないものは、社員一人一人の知識と経験を可能な限りオープンにし、企業の競争力として活用できるようなコラボレーション環境を実現することです。IBM Lotus Connections は、今までに直接会ったこともない分野の専門家を迅速に探し出し、情報の共有、知識の継承、相互の意見交換などを行うことによって、個人の知識を企業内の集合知として活用するためのソーシャルソフトウェアです。IBM Lotus Connections を利用することによって、専門家同士が集まるコミュニティの構築を可能にし、組織上の役割を超えた知識集合体を作り出すことが可能になります。一緒に働く社員、ビジネスパートナー、お客様を含めたプロフェッショナル・ネットワークを容易に構築することによって、ビジネスパートナーやお客様とのリレーションシップを強固にします。そして、上下関係や組織上の障壁を取り除き、自由闊達なコミュニケーションを実現することによって新たなイノベーションを生み出すことが可能になります。

様々なコンポーネントを横断的に利用する

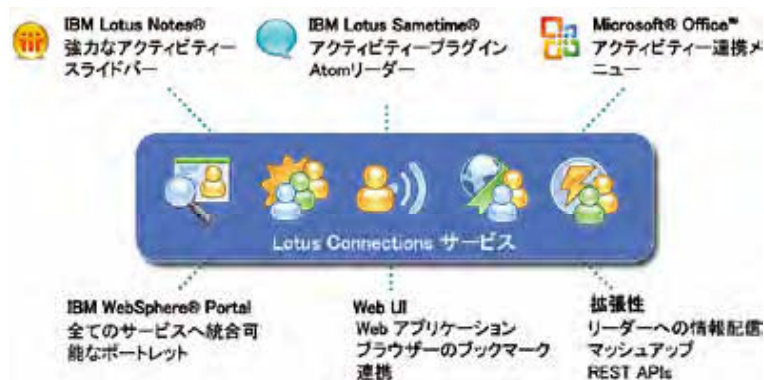
IBM Lotus Connections には、プロフィール、コミュニティ、ブログ、ドッグイア、アクティビティーの5つの機能が備わっています。これら5つの機能はそれぞれの機能が単独のコンポーネントとして提供されている製品とは違い、各コンポーネントを相互に活用することによって、単独ではなしえない効果を期待することができます。例えば、プロフィールで見つけた初対面の人と会話することを考えてみてください。プロフィールからその人が普段書いている日記（ブログ）、いつも読んでいるホームページ（ドッグイア）、現在携わっているタスク（アクティビティー）など、ある程度のバックグラウンドを事前に把握している方が話しやすいはず。IBM Lotus Connections では、5つ全ての機能を簡単に行き来できます。トップメニューに表示されるリンク、左メニューに表示されるリンク、そしてユーザー情報をポップアップ形式で表示するビジネスカードを使って、わざわざ対象のユーザーを検索することなく簡単に各コンポーネント間を移動することが可能です。



ビジネスカードは、ユーザーの名前が表示される箇所の殆どで表示することができます。ビジネスカードには、顔写真つきでユーザーの所在地、連絡先、組織の情報などの必要な情報が全て表示されていますので、連絡をとりたい相手に直ぐにたどりつくことができます。人を中心にそこに結びつく知識やスキルを横断的に行き来することによって、潜在的な情報共有と知識の継承につなげることが可能になります。

他のアプリケーションとの連携

IBM Lotus Connections には、他のロータスアプリケーションを含む様々な製品を利用して外部から活用できる仕組みが用意されています。特に、IBM Lotus Notes8, IBM Lotus Sametime, IBM WebSphere Portal といったロータス製品では、利用可能なプラグインアプリケーションおよびポートレットを導入することによって、それぞれのアプリケーションではなし得なかったソーシャルソフトウェアの機能を追加することができます。例えば、ビジネス向けリアルタイムコラボレーションツールである IBM Lotus Sametime で行ったチャットログを、ボタン一つでアクティビティーに登録することが可能となります。また、IBM Lotus Sametime で実装されたプラグインから、IBM Lotus Connections



* IBM Lotus Connections との連携機能については、現在開発中の製品も含まれます。公開時期につきましては弊社ホームページをご参照ください。

上のアクティビティーを参照することも可能です。これによって、ビジネスチャットを利用するユーザーに対して、新たなコラボレーションツールとしての価値を提供します。IBM WebSphere Portal のポートレットを利用すれば、一画面上に IBM Lotus Connections の複数のコンポーネントを同時に表示することができます。IBM Lotus Connections の複数の機能を一画面で見ることが出来るようになります。IBM Lotus Connections には、シンプルで実用的なREST型のAPIが提供されると共に、オープンスタンダードの技術であるAtomがサポートされています。これらの機能を活用して、IBM Lotus Connections と他のアプリケーションとをマッシュアップして利用することも可能です。

ソーシャルソフトウェアを企業へ

IBM Lotus Connections が、広く一般に公開されているソーシャルソフトウェアと比べて企業での利用に適しているところに注目してください。例えば、社員情報を表示するプロフィールにおいては、組織階層をあらわすレポートチェーンの表示、同じ組織に属する社員の一覧、個人の経歴やスキルを参照することができます。この機能によって、組織内の承認経路、同じ組織に所属する仲間、組織上の人と人との繋がりが一目で把握できるようになります。また、今までの仕事上の経歴やスキルを公開することによって、より組織内での活躍の場を広げると共に、最適なチームメンバーや相談相手を探し出すことが可能になります。タグの機能を使えば、個人個人のスキルを簡単な用語によって識別することが可能になり、組織横断的に専門家を探し出すことができるようになります。アクティビティ機能においては、一般のSNSで用いられているようなフォーラム形式のディスカッションに加えて、作業を明記したタスクの割り当て、プレゼンテーションファイルなどの添付、アップデートがあった場合のメンバーへの通知機能、投稿内容の優先順位付けなど、企業内で仕事を遂行する上で必須の機能が備わっています。



* 画像は開発中のものです。

その他、ブログにおけるグループ投稿、アクセス権の管理、投稿内容を事前に確認できる承認機能、コミュニティ内でのブックマークおよびフィードの管理、ドッグイアにおけるサイトリンクへの優先順位付けと選別など、どれも企業における情報を最大限に活用し、効果的なコラボレーションの実現という立場で IBM Lotus Connections の機能の多くが提供されているのです。



プロフィール

プロフィールは社員のあらゆる情報からある分野における専門家を特定するためのコンポーネントです

- ・名前、組織、場所、階層情報、スキルなどをキーに適切な人材を探し出します
- ・タグや組織階層を辿って、専門知識を持つユーザーおよび意思決定者を特定します
- ・組織の枠を越えて、新たなビジネス上の専門家を探し出し、プロフェッショナルネットワークを築き上げます



コミュニティ

コミュニティは共通の専門知識を持つユーザーが情報を交換したり共有したりするためのコンポーネントです

- ・特定のコミュニティの作成、検索、参加を簡単に実現することができます
- ・他のメンバーとの合意により、最終目標を明確にします。
- ・ブックマークおよびフィードを共有します。チームブログおよびフォーラムヘナビゲートします



ブログ

ブログはアイデアを公開し、フィードバックを受けることによって、他者の経験から学びとるためのコンポーネントです

- ・多くの聴衆者に対してアイデアや経験を公開することによって、知識の共有をはかります
- ・様々な意見やアイデアを交換することによって、新たなイノベーションを生み出します
- ・経験や知識を共有することによって、問題を明確化し、それを価値あるものにする共に磨きをかけます
- ・個人のブログと同様に、チームによるブログの運営が行えます



ドッグイア

ドッグイアは自分のブックマークを公開し情報共有を図ると共に、人気のあるコンテンツや必要な情報を素早く見つけ出すためのコンポーネントです

- ・保存したブックマークを公開または非公開にすることができます
- ・タグを使ってブックマークを分類したり、他のユーザーによって選別された価値ある情報を入手したりします
- ・最新の情報を入手するために、専門家によるブックマークリストをウォッチリストに追加することによって、自分のブックマークのように参照できます



アクティビティ

アクティビティはタスクを正確に実行し作業漏れを無くすと共に、関連するリソースを集約し迅速に完了させるためのコンポーネントです

- ・プロフェッショナルネットワークを形成し、次のステップへのプランとアクションを効果的に遂行します
- ・プロジェクトを迅速に遂行するために、To Doリストとしてタスクを割り当てます
- ・メールやチャット・ログ、ファイル、ディスカッションログなど、タスクを実行するのに必要となるコンテンツを管理し、コミュニケーションの中心として活用します
- ・今までの経験を元にした定義済みのテンプレートを使って、タスクの完了に必要なアクションやプロセスを把握することが出来ます



タグ付け

タグ付けは数ある Web2.0 を実現する技術の中でも、情報に具体的な意味と価値を持たせ、ユーザー主導型の情報分類を実現するための優れた仕組みです。IBM Lotus Connections では、お客様のビジネスを成功に導くために、このタグ付けの機能を最大限に活用しています。IBM Lotus Connections でのタグ付けは、人、Web ページ、ブログの記事、アクティビティ項目など、様々なエントリーに対して、簡単な単語を割り当てることによって、その情報を誰でも探しやすくすることが出来るようになります。例えば、あなたには「金融」と「マーケティング」というタグが付いているとします。銀行の端末システムを製作した製品開発部では、この製品を金融業界向けのイベントに出展することを考えます。プロフィール上のタグを頼りに、あなたを探し出し出展の依頼をしてくるかもしれません。

利用された頻度によってタグの大きさや太さを変更するタグクラウドという機能もあります。例えば、アルファベット順に並べられたタグの一覧から最近人気のあるキーワードや多くの人に語られているトピックが一目で分かるようになります。

タグ付けは、有限的なフォルダやカテゴリによる分類の枠を超え、多くの情報の中からより正確で意味のある情報を入手するための非常に有効な機能の1つです。

Web2.0 時代のコラボレーションツール IBM Lotus Connections

IBM Lotus Connections は Web2.0 で培った技術を、組織内のコラボレーションツールとして活用するためのソーシャルソフトウェアです。IBM Lotus Connections では、5つコンポーネントがワンパッケージで提供されているので、1つ1つの機能を単独で組み立てていく必要がなく、必要な機能を直ぐに利用することが可能になります。また、それぞれの機能は横断的に利用することが可能で、単独で利用することと比べて、より多くの価値をもたらすことができます。IBM Lotus Connections は社内での日常的な業務に利用することもできますし、社内のネットワークを超えた外部とのコラボレーションツールとして活用することもできます。

サービス・オリエンティッド・アーキテクチャー(SOA)とWeb2.0を可能にするインターフェースを活用することにより、IBM Lotus Notes、IBM Lotus Sametime、IBM WebSphere Portal、Microsoft Office といった他のアプリケーションから IBM Lotus Connections にアクセスすることができます。IBM Lotus Connections は IBM WebSphere Application Server と IBM DB2 の上に実装されているので、拡張性に優れた強固なセキュリティ機能を備えるシステム基盤を構築することが可能です。IBM Lotus Connections はお客様のビジネスの成長を加速させると共に、イノベーションの機会を増やし、一人一人が効果的なコラボレーションを実現できるソーシャルソフトウェアなのです。

Lotus Connectionsの詳細については、以下のホームページをご覧ください。
<http://www.ibm.com/jp/software/lotus/products/connections/index.html>



詳細情報

お問い合わせは、IBMビジネスパートナー、製品販売店、弊社営業担当または、ダイヤルIBM(☎0120-04-1992)へ。受付時間: 月～金 9:00～18:00(祝日12/30～1/3を除く)携帯電話等でおかけのお客様は下記の電話番号をご利用ください。ダイヤルIBM03-6220-8002(この場合通話料金はお客様のご負担となります)

IBM Lotus ミドルウェアソリューションを支えるテクノロジーと製品の詳細情報については、下記Webサイトにアクセスしてください。

ibm.com/jp/data

© Copyright IBM Japan, Ltd. 2006

日本アイ・ビー・エム株式会社
〒106-8711 東京都港区六本木 3-2-12

Produced in Japan
July 2007
All Rights Reserved

このカタログの情報は2007年7月の情報です。内容は事前の予告なしに変更する場合があります。表示画面及び印刷帳票の出力例のうち、特に断わり書きのない出力例のデータ部分は全て架空のものです。画面ははめ込み合成で実際の表示とは異なります。製品、サービス等詳細については、弊社もしくはIBMビジネスパートナーの営業担当員にご相談ください。

IBM、IBMロゴ、AIX、およびLotus Notes、Lotus Domino、Lotus Sametimeは、IBM Corporationの商標。

Microsoft、Windowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標。

Linuxは、Linus Torvaldsの米国およびその他の国における商標。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標。

♻️ 古紙配合率100%の再生紙に、大豆油(SOY)インクで印刷しています。